

## 第2期ロジスティクス環境会議 第2回企画運営委員会 議事録

I. 日 時：2006年7月7日（金） 15：00～16：10

II. 場 所：東京・港区 （社）日本ロジスティクスシステム協会 会議室

III. 出席者：19名

IV. 内 容：

- 1) 第2期ロジスティクス環境会議の組織体制について
- 2) 第2期ロジスティクス環境会議の概要と運営体制について
- 3) 第2期ロジスティクス環境会議の第1回本会議について
- 4) 第1回本会議の主な議案（活動目標）について

V. 開 会

開会にあたり、主催者を代表して事務局の徳田専務理事より開会挨拶が行われた後、第1回企画運営委員会に欠席された荒木副委員長、小西委員、飯島委員の紹介が行われた後、杉山委員長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

VI. 議事

1) 第2期ロジスティクス環境会議の組織体制について

事務局より、資料1に基づき、説明が行われ、第2期ロジスティクス環境会議の組織体制は了承された。また、各委員会の副委員長及びグリーン物流研究会の幹事については、事務局から別途企画運営委員の方に依頼する旨説明が行われ、了承された。

2) 第2期ロジスティクス環境会議の概要と運営体制について

事務局より、資料2に基づき、説明が行われ、以下のような意見交換がなされた。

【主な意見】

委 員：参加募集案内には企画運営委員会に関する記載がないが、本会議の場で、企画運営委員会の役割及びメンバーについて提案し、承認をいただくという理解でよいか。

事務局：ご指摘のとおりである。

【決定事項】

- ・ 資料2の2ページ“企画運営委員会の役割”の③の「～解決が求められる問題、課題に対しては、議案として検討する。」を「～解決が求められる問題、課題について、検討する。」に修正する。

3) 第2期ロジスティクス環境会議の第1回本会議について

事務局より、資料3及び別紙に基づき、説明が行われ、以下のような意見交換がなされた。

【主な意見】

委 員：第1期第1回本会議のタイムスケジュールとの違いを教えてください。

事務局：第1期第1回本会議と同じスケジュールとなっている。

委 員：“5. 行政施策動向”の後に質疑応答が必要だと考える。

【決定事項】

- ・ “5. 行政施策動向”で4省の説明が終わった後、質疑応答の時間を設けることとする。
- ・ タイムスケジュールの中の企画運営委員会担当部分については、別途事務局より企画運営委員の方に依頼することとする。

#### 4) 第1回本会議の主な議案（活動目標）について

事務局より、資料4に基づき、説明が行われ、以下のような意見交換がなされた。

##### 【主な意見】

（文言について）

委員：2ページの2. に“～メンバー企業の協力会社、取引先等にも1）の取り組みに～”とあるが、1）とは何を指しているのか教えていただきたい。

事務局：“1. 自ら環境負荷を低減する”を指しているのので、修正する。

（環境会議メンバー数を増やすという目標について）

委員：第1期活動中に、環境会議メンバーは増えたのかどうか教えていただきたい。

事務局：第1期活動を通じてメンバー数は増えていない。

委員：第1期活動中に、環境会議メンバーを増やす活動を行ったのか教えていただきたい。

事務局：ご指摘のような活動は特に実施していない。

委員：環境会議メンバーを増やすことは結果であって、目的ではない。したがって、環境負荷低減に取り組む企業を増やすことを目的として活動を進めるべきだと考える。

（CO<sub>2</sub>排出量の把握、報告、公表について）

委員：“2006年度と2007年度のCO<sub>2</sub>削減成果を評価する”とあるが、2006年度の評価とは、“2005年度の値と比較する”ということの意味しているのか教えていただきたい。

事務局：2006年度と2007年度の値を比較するという意味である。

委員：CO<sub>2</sub>排出量の把握が前面に出ると、参加を躊躇する企業も出てくると思われる。

委員：環境会議としてのメッセージは、“CO<sub>2</sub>排出量の報告や公表”よりも、“環境負荷低減に取り組んでほしい”ということだと考える。したがって、CO<sub>2</sub>排出量の報告や公表等のことは言わない方がよいのではないかと。

委員：“自らの環境負荷を低減する”という目標に対して、環境会議として何らかの成果を出したいということから前回の委員会で提示されたと記憶している。ただし、環境会議メンバーに“過度な負担がかかる”というイメージを与えてしまうことも問題だと思うので、“数値が出せる企業は出す”、といった表現に変更してはどうかと考える。

委員：環境会議として一体感を持った活動を進めたいという思いから、前回の委員会で提案したが、環境会議メンバーに“CO<sub>2</sub>排出量把握等は強制”と思われるのは問題だと考える。

委員：数値を出すことが目的ではないと考える。むしろ、それぞれの会社が環境負荷低減活動をどの程度まで行っているか、そしてその中で自社のレベルがどの段階なのかということが把握でき、かつ自社の新たな活動が進められるような情報の提供等が必要だと思う。

委員：改正省エネ法の報告を出すにあたっての簡易の算定ツールを提案して、それを環境会議メンバー含めた産業界に広く普及する活動があってもいいのではないかと。

委員：ロジスティクス環境宣言を実行することが活動の目的であり、その実行にあたってのツールをそろえることが環境会議の活動内容ではないかと考える。

委員：このような運動を進めるときに、活動目標とは一般的にどのような性格なものか教えていただきたい。

事務局：一般的には、数値目標を掲げると活動に求心力が増すと考えられる。実は、第1期においてもある委員からこのような提案をいただいたが、時期尚早ということで見送った。今期については改正省エネ法によりCO<sub>2</sub>排出量把握が義務となっていることに加えて、第1期活動終了後に取材を受けた際に“数値目標の達成の有無”について聞かれたことから、物流部門が努力していることをPRする1つの戦術として、数値目標にチャレンジしてもいいのではないかと考えてご提案させていただいた。

- 委員：環境宣言の実現を目標として2つの委員会及び研究会を設置し活動を行うこととなっており、あえて別に活動目標をつくってしまうと、分かりづらいと思う。
- 委員：4. 議事の1) 概要と運営体制の中にも目標が出てくるので、その中に含めてもいいのではないかと思う。
- 委員：改正省エネ法は施行されたが、現時点では数値把握できる企業の方が少ないと思われる。したがって、それを事務局に提出させることは現実的ではないと考える。
- 委員：改正省エネ法の主旨としては、「荷主と物流事業者は燃料消費量を把握しなければならない。その中で、一定規模以上の荷主と物流事業者には報告義務が発生する」ということである。したがって、例えば2006年度、及び2007年度定期報告書に記載した数字を各メンバーに提出してもらい、それを分析、集約することもできると考える。
- 委員：具体的な記載をすると理解が得られない可能性が高い。「環境会議メンバーで数字が出せる企業は、CO2排出量を出して削減に取り組みましょう」といったやわらかい表現の方がよいと思う。
- 委員：JILSが行っている物流コスト調査と同じように、アンケート形式で、“数値が出せる企業は出す”といったことで進めたほうがよいのではないかと思う。
- 委員：「改正省エネ法の裾きり基準に満たないから、CO2排出量の把握及び削減活動等を実施しなくてもよい」ということは問題であり、小規模の会社であっても、“こうすればCO2排出量が把握できる”といったものを広く情報提供し、多くの企業で取組めるようにすべきではないか。
- 委員：特定輸送事業者については、原単位の分母がトンキロと定められているが、1%削減という目標に対して、トンキロでは誤差が大きすぎると考える。したがって、メンバーでデータを集めて分析し、その結果によっては、例えば別の原単位の方がいいのではないかといった提案が行政に対してできるとよいと考える。
- 委員：目標と方法が混在している印象を持つ。“精度が高いCO2排出量の把握”や“簡単にCO2が図れるためのマニュアルの普及”などにより算定ができる企業を増やすといった具体的な活動を実施した上で、その次のステップとして“CO2排出量を環境会議メンバーは出しましょう”と進めた方が個人的にはよいと思う。
- 委員：参加募集案内の内容と資料4は、ギャップが大きすぎる。
- 委員：“活動目標は環境宣言の実現”であるならば、資料4の下の部分は活動内容ということでよいと思う。その活動内容をやわらかい表現に修正した方がよいと考える。

#### 【決定事項】

- ・ 環境会議メンバーの数は活動目標とはしない。
- ・ 活動目標は、環境宣言の実現であり、具体的な活動内容としてあげた“CO2排出量の把握及び集計、公表”については、本日の意見を踏まえて、事務局で修正案を作成する。
- ・ 資料3の4. 議事の中の“2) 活動目標について”は削除し、1) 概要を運営体制に含めることとする。

#### 5) その他

#### 【決定事項】

- ・ 本日の議論を受けて、事務局で修正案を作成し、企画運営委員にメール等で送り、ご確認いただくこととする。

#### VII. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、杉山委員長は閉会を宣した。

以上